



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 ザインエレクトロニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6769 URL <https://www.thine.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 康裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 山本 武男 TEL 03 (5217) 6660
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	1,531	△27.0	△231	—	△225	—	△170	—
2019年12月期第2四半期	2,097	37.6	△94	—	△99	—	△125	—

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △226百万円 (—%) 2019年12月期第2四半期 177百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△15.77	—
2019年12月期第2四半期	△11.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	9,339	8,779	92.2
2019年12月期	9,840	9,078	90.9

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 8,610百万円 2019年12月期 8,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2020年12月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2020年12月期（予想）	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難なため、未定としています。業績予想の開示が可能となり次第、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	12,340,100株	2019年12月期	12,340,100株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	1,530,037株	2019年12月期	1,530,021株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	10,810,068株	2019年12月期 2 Q	10,810,079株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、新型コロナウイルスの急速かつ世界的な感染拡大の影響による企業活動の制約や外出規制等による個人消費の落ち込みにより企業収益の悪化が見られ、経済活動の停滞が懸念され先行きの不透明感が広がりました。

このような環境の下で、当社グループは当期より2022年を目標年次とする中期経営戦略「5G&Beyond」をスタートしました。戦略5ゴールを設定し、それらを通じた成長ユースケースで生み出す売上総利益の倍増を目標とし、またさらに戦略5ゴール目標を超えた長期成長に向けたスマート・コネクティビティによるソリューションの提供に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、LSI事業では主に国内市場向けの製品出荷が低調に推移しましたが、概ね計画通りの推移となりました。AIOT事業においても一部で製品の納期後倒しや顧客開発案件の遅れ等により当初の見込みをやや下回って推移しました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、15億31百万円（前期比27.0%減）となり、売上総利益は7億62百万円（前期比29.5%減）となりました。販売費及び一般管理費については、前期より引き続き新しい市場のニーズに対応するための積極的な研究開発投資（3億98百万円、前期比27.4%減）を行い、販売費及び一般管理費全体として、9億93百万円（前期比15.5%減）となりました。これらの結果、営業損失2億31百万円（前年同期は営業損失94百万円）、経常損失2億25百万円（前年同期は経常損失99百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億70百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億25百万円）となりました。

(セグメント別の状況)

当社グループは、LSI事業とAIOT事業を軸として事業活動を推進しており、これらを事業セグメント区分としております。

(単位：百万円)

		2020年12月期 第2四半期	2019年12月期 第2四半期	増減率 (%)
LSI事業	売上高	829	1,298	△36.1
	営業利益	△223	△80	—
AIOT事業	売上高	701	798	△12.2
	のれん償却前 営業利益	57	51	12.1
	営業利益	△7	△13	—
合計	売上高	1,531	2,097	△27.0
	営業利益	△231	△94	—

(LSI事業)

当第2四半期連結累計期間のLSI事業の売上高は、主に国内市場の顧客向け製品出荷が低調となりましたが、概ね計画通りの推移となりました。産業機器市場向けビジネスは、主に国内市場向けのOA機器向けおよびアミューズメント機器向けの製品出荷が大きく落ち込んだ一方、米国の産業機器向け出荷は増加し、全体として前期比36.9%の減少となりました。同市場向けのビジネスはLSI事業の売上全体の約58%を占めております。車載機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の約27%を占めております。国内顧客向けの製品出荷が低調となった一方で、中国車載アフターマーケット向け製品出荷や北米顧客向けの車載純正品向け製品出荷が増加し、前期比17.0%の減少となりました。民生機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の約15%を占めております。国内顧客向けのモバイル機器向け製品の出荷が大幅に減少した一方、中国市場向け製品出荷は改善し、全体で前期比51.1%の減少となりました。これらの結果、LSI事業の売上高は8億29百万円（前期比36.1%減）、売上総利益は5億15百万円（前期比37.1%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、前期より引き続き新しい市場ニーズに対応した研究開発を積極的に実施いたしました。車載カメラ、医療用カメラ、認証用カメラ等のニーズに対応するための高速インターフェースV-by-One®HS新製品ラインアップや画像処理ソリューションの開発、複数信号を束ねてケーブル本数の抜本削減を可能とする高速通信トランシーバ製品の開発、5Gを遥かに超える次世代高速無線通信技術の開発等を行い、研究開発費3億63百万円を計上しました。なお、5Gを遥かに超える次世代高速無線通信技術の開発は、昨年度に採択されました国立研究機関および諸大学との共同研究プロジェクトとして開発を行っており、研究開発費用の一部を総務省にご負担頂いております。

これらの結果、LSI事業の当第2四半期連結累計期間における営業損失は2億23百万円（前年同期は営業損失80百万円）となりました。

(AIOT事業)

当第2四半期連結累計期間の売上高は、一部の顧客向け製品で納期後倒しや開発案件の遅延等に起因する売上計上の後倒しが発生し、前年同期比減少となりました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大予防に貢献する非接触型AI顔認証検温システムの販売を2020年3月より開始しました。同システムはホール型、サイネージ型およびゲート型の3種類のシステムをラインアップし、当第2四半期連結累計期間において100件近くを納入させて頂き、AIOT事業の売上高の約2割を占め売上に貢献しました。これらの結果、AIOT事業の売上高は7億1百万円（前期比12.2%減）、売上総利益は2億46百万円（前期比5.5%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、前期より引き続きAI・IoTを活用する新ニーズの拡大や第5世代移动通信（5G）による新しいアプリケーション市場の拡大を見据えて、SIMCom Wireless Solutions社との提携を通じたAI・IoTソリューションの開発に取り組み、通信型ドライブレコーダなどに向けた研究開発を行いました。さらに非接触型AI顔認証検温システムなどAIソリューションの研究開発も進め、全体として研究開発費34百万円を計上いたしました。また、同事業におけるM&Aに伴うのれんの償却額65百万円等を計上しました。

これらの結果、AIOT事業の当第2四半期連結累計期間における営業損失は7百万円（前年同期は営業損失13百万円）となりました。なお、前述ののれん償却前の営業利益は57百万円（前期比12.1%増）となります。

※「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における、営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、売上債権が4億77百万円減少した一方、税金等調整前四半期純損失を1億46百万円計上し、その他の流動資産が1億31百万円増加したこと等により82百万円のマイナスとなりました。（前年同期は2億12百万円のマイナス）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、投資有価証券の売却による収入等により16億6百万円のプラスとなりました。（前年同期は1億87百万円のマイナス）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払等により97百万円のマイナスとなりました。（前年同期は97百万円のマイナス）

これらの結果により、現金及び現金同等物は全体として13億90百万円増加して当第2四半期連結会計期間末残高は67億20百万円となりました。当社グループとしては、機動的な研究開発リソースの確保やM&Aの機会に迅速に対応できるよう内部留保を厚くする方針であり、資金運用に関しても流動性を重視した運用を行うこととしております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年7月20日に公表しております通り、新型コロナウイルス感染症の影響により現段階では合理的な業績予想の算出が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績への影響を慎重に見極め、予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,329,928	6,720,275
売掛金	848,434	373,660
商品及び製品	146,477	240,613
仕掛品	62,358	47,296
原材料	31,715	55,961
その他	105,552	254,442
流動資産合計	6,524,466	7,692,251
固定資産		
有形固定資産	105,056	91,826
無形固定資産		
のれん	521,358	456,188
その他	7,167	7,724
無形固定資産合計	528,526	463,913
投資その他の資産		
投資有価証券	2,556,309	969,563
繰延税金資産	14,555	9,983
その他	111,732	111,631
投資その他の資産合計	2,682,597	1,091,179
固定資産合計	3,316,180	1,646,918
資産合計	9,840,646	9,339,170
負債の部		
流動負債		
買掛金	299,004	204,340
未払法人税等	50,605	21,478
賞与引当金	50,595	15,807
役員賞与引当金	10,977	—
資産除去債務	—	9,637
その他	208,607	186,351
流動負債合計	619,791	437,615
固定負債		
繰延税金負債	3,367	—
退職給付に係る負債	21,139	18,711
資産除去債務	25,073	15,607
その他	92,567	87,284
固定負債合計	142,148	121,603
負債合計	761,939	559,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,175,267	1,175,267
資本剰余金	1,286,608	1,286,608
利益剰余金	8,749,324	8,481,562
自己株式	△2,291,882	△2,291,902
株主資本合計	8,919,316	8,651,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,762	△72,156
為替換算調整勘定	38,690	30,680
その他の包括利益累計額合計	23,927	△41,475
新株予約権	122,994	148,023
非支配株主持分	12,468	21,869
純資産合計	9,078,707	8,779,951
負債純資産合計	9,840,646	9,339,170

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,097,010	1,531,269
売上原価	1,015,908	768,627
売上総利益	1,081,101	762,641
販売費及び一般管理費	1,175,888	993,866
営業損失(△)	△94,786	△231,224
営業外収益		
受取利息	7,651	4,640
受取配当金	26,386	12,934
投資事業組合運用益	170	10,422
雑収入	4,560	9,657
営業外収益合計	38,768	37,655
営業外費用		
為替差損	43,103	32,342
雑損失	123	45
営業外費用合計	43,227	32,387
経常損失(△)	△99,244	△225,956
特別利益		
投資有価証券売却益	—	79,900
その他	126	36
特別利益合計	126	79,936
税金等調整前四半期純損失(△)	△99,118	△146,020
法人税、住民税及び事業税	16,224	10,372
法人税等調整額	6,810	4,572
法人税等合計	23,035	14,944
四半期純損失(△)	△122,154	△160,965
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,998	9,505
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△125,152	△170,471

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△122,154	△160,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	308,260	△57,393
為替換算調整勘定	△8,597	△8,009
その他の包括利益合計	299,663	△65,403
四半期包括利益	177,509	△226,368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,719	△235,769
非支配株主に係る四半期包括利益	2,789	9,400

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△99,118	△146,020
減価償却費	14,642	14,720
のれん償却額	65,169	65,169
株式報酬費用	24,612	25,064
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,080	△34,788
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	968	△2,428
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,389	△10,977
投資事業組合運用損益(△は益)	△170	△10,422
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△79,900
受取利息及び受取配当金	△34,037	△17,575
支払利息	123	45
為替差損益(△は益)	43,907	25,800
売上債権の増減額(△は増加)	△127,266	477,789
たな卸資産の増減額(△は増加)	△27,048	△103,342
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△90,436	△131,689
仕入債務の増減額(△は減少)	105,334	△94,596
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△85,309	△27,465
その他	94	167
小計	△221,004	△50,448
利息及び配当金の受取額	34,287	18,385
利息の支払額	△123	△45
法人税等の支払額	△25,666	△50,578
営業活動によるキャッシュ・フロー	△212,507	△82,686
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△5,745	△9,134
敷金の差入による支出	△3,575	△960
敷金の回収による収入	359	1,170
投資有価証券の売却による収入	—	1,599,190
投資有価証券の償還による収入	23,158	3,876
投資事業組合からの分配による収入	8,000	12,700
子会社株式の取得による支出	△211,235	—
その他	1,052	△515
投資活動によるキャッシュ・フロー	△187,987	1,606,327
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△97,290	△97,290
その他	△46	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,337	△97,417
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55,469	△35,875
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△553,301	1,390,347
現金及び現金同等物の期首残高	5,515,652	5,329,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,962,350	6,720,275

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。